

2011.1.24

さらなる夢も語り合い

三沢区民農園で収穫祭

三沢区（山之内寛区長）の区民農園収穫祭が二十三日、同区コミユニティ施設で開かれ

た。映像で昨年の事業を振り返り、ことしの事業計画を発表。農園関係者ら約三十人の参

発展へ夢を語り合っている。

区民農園は、自給自足、地産地消を目指し二〇〇八年九月に開設。区内に拠点を置くNPO法人「農と人とくらし研究センター」（片倉和人代表）との連携で、遊林荒廃農地を借りて耕し、希望者に個人農園として提供しているほか、集団営

昨年は二十年間休耕地だった棚田を開墾し、区内の児童養護施設「つつじが丘学園」の子どもたちと米作りに挑戦したり、炭焼き窯を手作りするなどの新規事業を展開。県の「地域発元気づくり支援金」交付事業のなかから知事表彰も受賞した。

加者は、地元の味に舌鼓を打ちながら今後の

農で野菜栽培やヤギの飼育などに取り組んで

収穫祭では、農園長の横内護さんがことしの計画を発表。養蚕の復活に向け桑畑作りなどの準備に入るほか、コミユニティ施設内に野菜の直売所を開設するという。また、水田の拡大や炭焼き、キノコの栽培、ヤギの繁殖、農産物を加工しジャムやチーズを作るなど計画は盛りだくさん。参加者は収穫祭前の講習会で手打ちしたそばや農園産のみそを使ったシシ汁を味わいながら、和やかに意見を交わし合った。



打ちたてのそばを味わい今後の夢を語る参加者たち

打ちたてのそばを味わい今後の夢を語る参加者たち